

Ⅲ 本年度の主な事務事業

- 1 基幹浄水場連絡管整備事業
 - (1) 概要
 - (2) 事業費及び財源
 - (3) 令和3年度事業内訳
- 2 老朽管更新事業
 - (1) 概要
 - (2) 事業費及び財源
 - (3) 令和3年度事業内訳
- 3 いわき市水道事業経営審議会
 - (1) 第17次いわき市水道事業経営審議会からの答申
 - (2) 第18次いわき市水道事業経営審議会
- 4 令和元年東日本台風による被害と復旧の経過
 - (1) 概要
 - (2) 主な被害状況
 - (3) 災害復旧の進捗状況
 - (4) 災害復旧等に係る事業費と財源
- 5 新型コロナウイルス感染症対策関係
 - (1) 概要
 - (2) 新型コロナウイルス感染症対策に係る事業費と財源
- 6 いわき市水道事業100周年記念事業
 - (1) 概要
 - (2) 記念事業
- 7 いわき水みらいビジョン2031の策定
 - (1) 策定の趣旨
 - (2) 施策体系

市の鳥 かもめ（平成8年10月1日制定）



市制施行30周年を記念して制定されました。かもめは身近な海鳥として、ひろく一般に知られています。

本市には約60キロメートルにわたる美しい海岸線があり、市のイメージに最もふさわしい鳥です。

Ⅲ 本年度の主な事務事業

1 基幹浄水場連絡管整備事業

(1) 概要

本事業は、目標年度を令和10年度として平成15年度から実施している事業であるが、令和4年1月策定の「いわき水みらいビジョン2031（令和4年度～令和13年度）」において、「新・いわき市水道事業経営プラン中期経営計画（平成29年度～令和3年度）」に引続き、主要事業として位置付けた事業である。

平常時の効率的な配水運用を可能にし、さらに災害発生時などの非常時にも安定した給水を確保し、災害による影響（断水）を最小化することを目的として、浄水場水系間で相互融通体制を構築する連絡管等の整備を進め、バックアップ機能の強化を図るものである。

平成20年度には「平・上野原水系幹線」、平成27年度には「平第2配水池」「平ポンプ場」、令和2年度には「平・鹿島水系幹線」（平配水池から中央台ポンプ場まで）の整備が完了した。

令和3年度は6億1,919万円の事業費で、「鹿島・常磐水系幹線」の新設工事の整備を実施した。

(2) 事業費及び財源

ア 事業費

(単位：千円)

区 分	平成15～令和2年度	令和3年度	合計
配水施設	10,701,827	498,808	11,200,635
平第2配水池新設	1,358,240	0	1,358,240
平ポンプ場新設	1,224,655	0	1,224,655
水系幹線新設	8,118,932	498,808	8,617,740
消火栓施設	3,757	0	3,757
用地費	89,368	0	89,368
測量調査費	524,373	87,645	612,018
補償費	53,244	0	53,244
負担金	964	0	964
事務費	626,979	32,737	659,716
合 計	12,000,512	619,190	12,619,702

※ 本事業費は後期事業の繰越分（平成20年度からの繰越額 工事請負費104,281千円、事務費130千円）は含まない。

イ 財源

(単位：千円)

区 分	平成15～令和2年度	令和3年度	合計
企業債	5,791,700	123,700	5,915,400
国庫補助金	0	0	0
自己資金	3,429,198	235,933	3,665,131
工事負担金	0	0	0
他会計負担金	3,757	0	3,757
他会計出資金	2,775,857	259,557	3,035,414
合 計	12,000,512	619,190	12,619,702

(3) 令和3年度事業内訳

(単位：千円)

区 分	事 業 費	施 行 内 容
1 配水施設 水系幹線新設	498,808	配水施設 鹿島・常磐水系幹線新設工事（第3工区） φ 800mm L = 748m φ 400mm L = 656m（中部配水池排水管）
2 消火栓施設	0	
3 用地費	0	
4 測量調査費	87,645	水道施設総合整備計画策定支援業務委託
5 補償費	0	
6 負担金	0	
7 事務費	32,737	
合 計	619,190	

(配水課)

2 老朽管更新事業

(1) 概要

ア 老朽管更新事業

本事業は、「新・いわき市水道事業経営プラン中期経営計画」において最重要事業として位置づけ、実使用年数（実際に使用可能な年数）を超過する水道管を耐震管で更新することで災害に強くかつ健全性を維持することを目的とした事業である。

令和3年度は4億 4,095万 4千円の事業費で、平下荒川配水管改良工事外70件を実施した。

また、「いわき水みらいビジョン2031」では主要事業として位置付け、新たな更新基準として設定した標準使用年数や重要度に応じて設定した延長使用年数に基づき管路の更新を行っていく。

イ 重要給水施設配水管整備事業

本事業は、「新・いわき市水道事業経営プラン中期経営計画」において老朽管更新事業を構成する一事業として、東日本大震災の経験を踏まえ、耐震化された配水池から災害時に優先的に給水すべき救急病院等の重要給水施設までの配水管を耐震化することで、災害時においても確実な給水を確保することを目的とした事業である。

令和3年度は、7億 6,728万 3千円の事業費で内郷御台境町配水管整備工事外7件を実施した。

また、「いわき水みらいビジョン2031」では主要事業として位置付け、令和13年度の整備完了を目標に事業を進めていく。

なお、本事業は生活基盤施設耐震化等交付金の対象事業である。

(2) 事業費及び財源

ア 事業費

区 分	令和3年度
更新延長 (m)	27,684
事業費 (千円)	4,040,954

イ 財源 (単位：千円)

区 分	令和3年度
企業債	1,471,800
国庫補助金	63,558
自己資金	1,966,804
他会計負担金	65,654
他会計出資金	473,138
計	4,040,954

(3) 令和3年度事業内訳

(単位：千円)

区 分	事業費	施 行 内 容
1 配水施設 老朽管更新事業	3,716,927 (767,283)	配水施設 平下荒川配水管改良工事 外70件 φ 50mm～φ 500mm L=27,684m (内郷御台境町配水管整備工事 外7件) (φ 75mm～φ 500mm L=2,054m)
2 消火栓施設	65,654	78基
3 用地費	0	
4 測量調査費	109,614 (0)	配水施設 郷ヶ丘一丁目配水管改良測量委託 外8件
5 補償費	138	ガス管移設補償
6 負担金	0	
7 事務費	148,621	
合 計	4,040,954	

(注)：() 内は重要給水施設配水管整備事業を内数で示す。

(配水課)

3 いわき市水道事業経営審議会

(1) 第17次いわき市水道事業経営審議会からの答申

いわき市水道事業経営審議会は、いわき市水道事業の円滑な経営を図るため、市長の諮問に応じ、水道事業の経営に関し必要な事項を調査審議する機関である。平成12年4月にいわき市水道事業経営審議会条例の改正を行い、委員の任期を2年とし、常設の機関とした。

第17次水道事業経営審議会は、令和元年12月23日に市長から「今後の水道事業経営について」として諮問を受け、2年間（6回）にわたり、慎重な審議を続け、令和3年11月24日に答申がなされた。

答申の要旨は次のとおりである。

令和4年度からの新たな経営計画については、50年後の目指すべき最適な水道システムの理想像を示し、その実現を図るための具体的な方策を定めた水道施設総合整備計画を検証したうえで、同経営計画の骨子について議論を進め、その内容が妥当であると判断する。

なお、過去の流れを踏襲すれば、現行計画の基本計画の終期である令和8年度までの中期経営計画の後期計画を策定することとなるが、水道施設総合整備計画により将来の理想像が見直されること、水道法の改正内容を踏まえる必要があることなどから、現行計画の基本計画と中期経営計画の二段階構成を含めた全体的な見直しを行い、新たに令和4年度から10年間の経営計画を策定するものであることを確認した。

また、同経営計画の計画期間内の令和4年度からの10年間については、令和8年度までの5年間は、現行の水道料金水準を維持したまま財源を確保し、予定する事業を実施することが可能であると判断する。

しかしながら、令和9年度からは資金不足が生じることが避けられない見込みとなっているが、5年後の令和8年度には同経営計画を見直すこととしており、事業の現状と課題を踏まえたうえで、水道料金水準や企業債充当率の見直し、さらには浄水場をはじめとする大規模施設の更新の適正化を推進するなど、今後の経営改善に向けた具体的なコスト節減の方策を、経営環境の変化を的確に捉えながら切れ目なく検討し、持続可能な経営基盤の確立に努められたい。

○ 第17次いわき市水道事業経営審議会審議日程及び内容

開催年月日 (開催回数)	開催場所	審議時間	審議内容
令和元年12月23日 (第1回)	水道局室 第1会議室	15:30) 16:05	・委嘱状交付 ・諮問 ・審議会の概要、日程、審議事項等
令和2年2月6日 (プレスタディ ミーティング①)	水道局室 第1会議室	15:00) 16:55	・水道事業の概要 ・水道財政のしくみ
令和2年7月9日 (プレスタディ ミーティング②)	水道局室 第1会議室	15:00) 17:05	・新・いわき市水道事業経営プラン ・水道事業事業評価の概要
令和2年12月18日 (第2回)	文化センター 中会議室	15:00) 16:50	・令和元年度経営プランの取組状況及び評価 ・令和元年度水道事業会計決算の概要 ・令和元年度決算・財政計画との比較
令和3年7月15日 (第3回)	水道局室 第1会議室	14:00) 16:30	・水道施設総合整備計画案①
令和3年9月1日 (第4回)	市役所 第8会議室	14:00) 16:30	・水道施設総合整備計画案② ・新たな経営計画の骨子①
令和3年10月8日 (第5回)	水道局室 第1会議室	14:00) 17:05	・令和2年度経営プランの取組状況及び評価 ・令和2年度水道事業会計決算の概要 ・令和2年度決算・財政計画との比較 ・新たな経営計画の骨子②
令和3年11月2日 (第6回)	水道局室 第1会議室	14:00) 16:00	・答申案の審議
令和3年11月24日 (答申)	秘書課 接室	10:15) 10:45	・答申

○ 第17次いわき市水道事業経営審議会委員

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属 等
会 長	原 田 正 光	福島工業高等専門学校都市システム工学科教授
副 会 長	古 川 広 子	いわき市地域婦人会連絡協議会 副会長
委 員	石 山 伯 夫	株式会社マルト 管理本部 常務取締役本部長
〃	今 井 滋	公益社団法人日本水道協会 水道技術総合研究所 主席研究員
〃	小 野 卓 也	公益社団法人いわき青年会議所 副理事長
〃	上遠野 恭 子	いわき市健康推進員協議会 会長
〃	河 合 伸	学校法人昌平聳 東日本国際大学 教授 経済経営学部長
〃	草 野 充 宏	いわき地区商工会連絡協議会 副会長
〃	斎 藤 七 重	いわき男女共生連絡協議会 会長
〃	佐久間 幸 子	いわき商工会議所女性会 副会長
〃	菅 原 啓 史	連合福島いわき地区連合会 副議長
〃	杉 岡 弘 之	公募
〃	鈴 木 俊 彦	公認会計士
〃	山 田 隆	アルプスアルパイン株式会社小名浜工場 総務部 小名浜総務課 課長
〃	吉 田 伸 郎	公募

(任期 令和元年12月1日から令和3年11月30日まで)

(令和3年11月24日現在)

(2) 第18次いわき市水道事業経営審議会

第18次水道事業経営審議会は、令和4年1月20日に市長から新たな15名の委員への委嘱状が交付された。

○ 第18次いわき市水道事業経営審議会委員

(敬称略)

区 分	氏 名	所 属 等	役 職
学識経験を有する者 4名	原 田 正 光	福島工業高等専門学校都市システム工学科教授	会 長
	河 合 伸	東日本国際大学 経済経営学部長 教授	
	鈴 木 俊 彦	公認会計士	
	今 井 滋	公益社団法人日本水道協会 水道技術総合研究所 主席研究員	
水道使用者 9名	石 山 伯 夫	株式会社マルトグループホールディングス 管理本部 常務取締役本部長	
	上遠野 恭 子	いわき市健康推進員協議会 会長	
	草 野 充 宏	いわき地区商工会連絡協議会 副会長	
	熊 田 哲 也	公益社団法人いわき青年会議所 2021年度常任理事	
	斎 藤 七 重	いわき男女共生連絡協議会 会長	
	佐久間 幸 子	いわき商工会議所女性会 副会長	
	菅 原 啓 史	連合福島いわき地区連合会 議長代行	
	古 川 広 子	いわき市地域婦人会連絡協議会 副会長	副会長
	山 田 隆	アルプスアルパイン株式会社小名浜工場 総務部 小名浜総務課 課長	
市長が必要と認める者 2名	金 田 晴 美	公募	
	堀 江 一 到	公募	

(任期 令和4年1月20日から令和6年1月19日まで)

(令和4年1月20日現在)

(経営戦略課)

4 令和元年東日本台風による被害と復旧の経過

(1) 概要

令和元年10月12日から13日にかけて本市を襲った令和元年東日本台風（台風第19号、以下「台風」という）により夏井川など市内各地の河川堤防で氾濫が発生し、平地区（平窪、赤井）、好間地区、小川地区などで広範囲にわたり床上浸水や土砂災害等に伴う住家被害が多数発生したほか、基幹浄水場である平浄水場が浸水被害を受けて運転停止となったことから、市内の約3分の1にあたる約4万5,400戸に広域的な断水が発生した。また、勿来地区では、鮫川の氾濫により法田ポンプ場が浸水被害を受けて運転停止となったが、他の浄水場からの融通により、配水区域への給水を継続しつつ、復旧作業にあたった結果、14日には運転を再開した。

平浄水場については、全国の水道事業者をはじめ、自治体、自衛隊、民間企業等の協力を得ながら、組織を挙げて応急給水活動を実施するとともに、応急復旧作業に取り組んだ結果、21日に試験浄水を開始し、浄水処理と運転制御に問題がないことを確認できたため、22日から通水作業に入り段階的に通水エリアを拡大した。25日の豪雨により大久町大久の一部地区で再び断水が発生したものの、27日午後3時をもって通水作業を完了し、全ての断水を解消することができた。

(2) 主な被害状況

ア 取水・浄水施設

- ・ 平浄水場：台風に伴う夏井川氾濫により被災
被害状況：電気設備、ポンプ室、ろ過池及び沈殿池の付帯設備などが浸水
- ・ 下平窪取水場：台風に伴う夏井川氾濫により被災
被害状況：屋内受変電設備、屋内電気計装設備、汚泥引抜ポンプなどが浸水
- ・ 法田ポンプ場：台風に伴う鮫川氾濫により被災
被害状況：屋外受電設備、電気室内電気盤、送水ポンプ電動弁などが浸水

イ 配水施設

- ・ 平窪第2ポンプ場：台風に伴う夏井川氾濫により被災
被害状況：電気計装設備、ポンプ電動機、薬品注入設備などが浸水
- ・ 草木台配水池：台風に伴う豪雨により被災
被害状況：進入路法面崩れ

ウ 耐震性貯水槽建屋

- ・ 好間第一小学校耐震性貯水槽：台風に伴う好間川氾濫により浸水
- ・ 馬場児童公園耐震性貯水槽：台風に伴う新川氾濫により浸水

エ 管路

- ・ 配水管：台風に伴う河川氾濫により被災
被害状況：配水管洗掘2か所及び添架管折れ1か所
- ・ 給水管：台風に伴う河川氾濫及び10月25日の豪雨により被災
被害状況：河川氾濫により漏水3件、豪雨による漏水1件

(3) 災害復旧の進捗状況

取水・浄水施設（平浄水場、下平窪取水場、法田ポンプ場）及び配水施設（平窪第2ポンプ場、草木台配水池）については、令和2年度までに36件の応急復旧工事や緊急業務委託を発注し、全ての工事等を完了した。

管路については、落橋した禰宜内橋の復旧工事に合わせ配水管を添架する工事となるため、応急的な仮設管の工事及び配水管添架に係る実施設計委託を令和2年度までに実施し、本復旧工事については禰宜内橋復旧工事の進捗に合わせ令和4年度に施工する。

なお、耐震性貯水槽建屋については、浸水したものの復旧工事を要する被害は生じなかったことから、配水には影響がなかった。

(4) 災害復旧等に係る事業費と財源

令和3年度は、資本的支出で10,729千円の事業費を支出して浸水対策事業を実施した。

【上水道・簡易水道合計】

(単位：千円)

	令和元～2年度	令和3年度	令和4年度		予 算 計	合 計	備 考	
	決 算	決 算	当初予算	繰越等				
総 事 業 費	1,992,761	10,729	28,322	52,909	81,231	2,084,721		
(財源) 国庫補助金等	530,204	5,364	6,387	26,454	32,841	568,409		
(財源) 自己資金	1,462,557	5,365	21,935	26,455	48,390	1,516,312		
総 事 業 費 の 収 支 内 訳	(収益的収入)	301,111	0	0	0	301,111		
	特別利益	301,111	0	0	0	301,111		
	災害復旧に係る 国庫補助金	261,924	0	0	0	261,924		
	応急給水に係る 繰入金	39,187	0	0	0	39,187		
	(収益的支出)	1,104,867	0	0	0	1,104,867		
	人件費	36,571	0	0	0	36,571		
	災害給水・災害復 旧・災害対応	36,571	0	0	0	36,571		
	特別損失 (災害による損失)	1,068,296	0	0	0	1,068,296		
	災害応急復旧費	1,043,600	0	0	0	1,043,600		
	災害応急給水費	24,696	0	0	0	24,696		
	(資本的収入)	229,093	5,364	6,387	26,454	32,841	267,298	
	国庫補助金	229,093	0	6,387	0	6,387	235,480	
	災害復旧に係る 補助金	229,093	0	6,387	0	6,387	235,480	禰宜内橋関連
	他会計出資金	0	5,364	0	26,454	26,454	31,818	
	浸水対策に係る 繰入金	0	5,364	0	26,454	26,454	31,818	浄水場浸水対策委託
(資本的支出)	887,894	10,729	28,322	52,909	81,231	979,854		
施設整備事業費	23,650	10,729	0	52,909	52,909	87,288		
委 託 料	23,650	10,729	0	52,909	52,909	87,288	浄水場浸水対策委託	
災害復旧事業費	864,244	0	28,322	0	28,322	892,566		
委 託 料	6,710	0	28,072	0	28,072	34,782	禰宜内橋関連	
工事請負費	857,534	0	0	0	0	857,534	禰宜内橋関連	
負 担 金	0	0	250	0	250	250	禰宜内橋関連	

(経営戦略課)

Ⅲ
本
年
度
の
主
な
事
務
事
業

5 新型コロナウイルス感染症対策関係

(1) 概要

令和2年4月16日に、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の対象区域が全都道府県に拡大されるとともに、市内においても感染者が確認されたことなどを受け、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、様々な取組を実施してきた。

具体的には、人と人との接触による感染リスクを軽減させる観点から、浄水場敷地内や各課等への立入りを制限することに加え、水道配水管図の交付等の手続きにおける郵送による取扱いの導入や入札方式について入札当日に来局の必要がない「郵便による入札」への変更を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、離職や収入の大幅な減少等により生活が困窮する方を支援するため、水道料金・下水道使用料等の支払いが困難な方に対し、支払い猶予について相談に応じてきた。

さらに、職員の勤務体制については、「新型インフルエンザ等に係るいわき市水道事業継続計画（BCP）」に基づき、優先して実施していく業務を見定めた上で、業務に支障がない範囲において接触機会を減らすため、分散勤務や在宅勤務等により、職場単位において職員全員が感染者または濃厚接触者となることを防止する体制を構築し、業務執行体制の確保に努めた。

これらの取組により、市内での新規感染者が急増するなど、感染症の収束を見通すことが困難な状況下においても、感染症対策の徹底を図り、職員の感染防止に努めながら、市民生活に不可欠な水道水の安定供給を維持してきた。

○ 職員の勤務体制

① 分散勤務

ア 水道局本庁舎

各課において、本庁舎、東分庁舎（東側倉庫を改修）及び仮設庁舎（公用車駐車場内に設置）に分散して勤務した。

イ 南部工事事務所

事務所及び仮設庁舎（事務所敷地内に設置）に分散して勤務した。

② 在宅勤務

業務で使用しているLGWAN接続系端末やテレワーク用タブレット端末を用いて、在宅勤務を行った。

③ 時差出勤

7時30分から19時15分までの範囲内で時差出勤を行い、通勤途上の感染防止と弾力的な勤務体制の確保を図った。

④ 週休日等の活用

週休日や休日等に勤務を割り振り、平日を振替日または代休日とすることで、一日あたりの出勤者を減らした。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策に係る事業費と財源

令和3年度は、収益的支出で12,903千円の事業費を支出して新型コロナウイルス感染症対策を実施した。

【上水道・簡易水道合計】

(単位：千円)

	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算		合計	備考		
			当初予算	繰越等				
総事業費	73,515	12,903	12,167	0	12,167	98,585		
(財源) 国庫補助金等	73,515	12,903	0	0	0	86,418		
(財源) 自己資金	0	0	12,167	0	12,167	12,167		
総事業費 的 業 支 の 本 内 的 収 支 費	収益的収入	30,874	12,903	0	0	0	43,777	
	特別利益	30,874	12,903	0	0	0	43,777	
	その他特別利益	30,874	12,903	0	0	0	43,777	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
	収益的支出	30,874	12,903	12,167	0	12,167	55,944	
	営業費用	0	919	0	0	0	919	
	原水及び浄水費	0	0	0	0	0	0	
	配水及び給水費	0	0	0	0	0	0	
	業務費	0	919	0	0	0	919	
	総係費	0	0	0	0	0	0	
	特別損失	30,874	11,984	12,167	0	12,167	55,025	
	その他特別損失	30,874	11,984	12,167	0	12,167	55,025	
	資本的収入	42,641	0	0	0	0	42,641	
	他会計出資金	42,641	0	0	0	0	42,641	
	他会計出資金	42,641	0	0	0	0	42,641	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
	資本的支出	42,641	0	0	0	0	42,641	
	建設改良費	42,641	0	0	0	0	42,641	
施設整備事業費	13,739	0	0	0	0	13,739		
老朽管更新事業費	0	0	0	0	0	0		
施設更新事業費	14,399	0	0	0	0	14,399		
固定資産購入費	14,503	0	0	0	0	14,503		

(経営戦略課)

Ⅲ 事務事業
本年度の主な

6 いわき市水道事業100周年記念事業

(1) 概要

本市の水道事業は、旧平町において大正10年（1921年）11月1日に給水を開始して以来、令和3年（2021年）で100年の節目を迎えたことから、これまでの歴史を振り返るとともに、先人達の功績に敬意を表し、更なる100年に向けて次世代に安全で安心な水道を継承し、引き続き市民の皆様から信頼される水道事業を目指していく契機とするため、100周年記念事業を実施した。

実施に当たっては、局内に実行委員会及び検討委員会を設置の上、令和元年10月に実施計画を策定したが、令和元年東日本台風等に伴う被災と新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、内容を見直し（縮小）して実施した。

(2) 記念事業

① 記念式典の開催

令和3年11月15日（月）に、いわき芸術文化交流館アリオス中劇場で開催した。

式典では、来賓の方々から御祝辞をいただくとともに、これまで本市の水道の普及に貢献し災害時の復旧支援活動にも尽力いただいた、いわき管工事協同組合様とiwaki管友会様に感謝状を贈呈した。

【内容】

ア 式辞

いわき市長 内田 広之

イ 来賓祝辞

厚生労働省医薬・生活衛生局水道課長 名倉 良雄 様

福島県知事 内堀 雅雄 様（代理）保健福祉部食品生活衛生課長 金澤 賢一 様

いわき市議会議長 大峯 英之 様

ウ 特別表彰

いわき管工事協同組合 様

いわき管友会 様

エ 記念映像上映

水道事業の歴史を振り返る記念映像の放映

オ 記念講演

- ・演題 次世代の子供たちに安全でおいしい水を届ける「持続可能な水道づくり」
- ・講師 増子 敦 氏（日本オゾン協会会長、元東京都公営企業管理者・水道局長）

カ 記念アトラクション

朗読と音楽でつづる「水ものがたり」

- ・朗読 緑川 明日香 氏、小泉 友恵 氏
- ・演奏 いわき交響楽団 弦楽四重奏団

キ 記念品

100周年記念デザインのトートバッグ及びステンレスボトルを配布した。

② 記念誌の発行

水道事業の歩みをまとめた100周年記念誌を発行した。

③ 年表パネルの展示

水道事業の歩みを写真付きで掲載した年表パネルを製作し、水道局玄関ホールに展示した。

④ ウォーターサーバーの設置

100周年記念デザインのウォーターサーバーを製作し、水道局玄関ホールに設置した。

④ 検針票・封筒へのPR文言印字

検針票や水道局用封筒に「令和3年11月1日水道事業100周年」の文言を印字しPRした。

7 いわき水みらいビジョン2031の策定

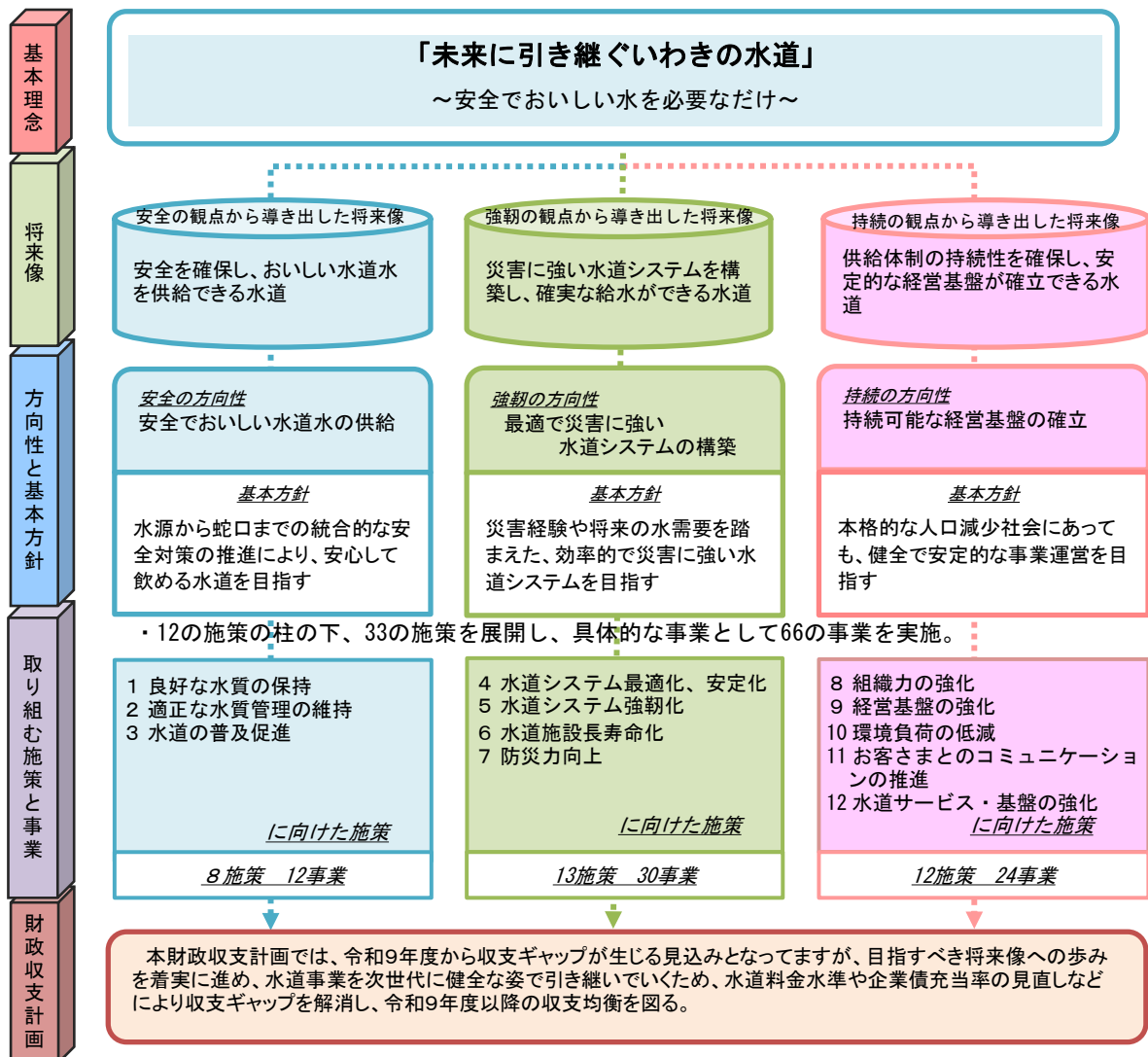
(1) 策定の趣旨

本市の水道事業は、近年、人口減少に伴う水需要の減少が続いており、水道料金収入が減少する一方、高度経済成長期に整備した施設の老朽化が進み、更新需要の増加が見込まれる。さらには、令和元年東日本台風による被災を経験し、これまでの地震を中心とする災害対策に加え様々な自然災害を見据えた対策が求められており、これらを踏まえた水道システムの強靱化が急務となっている。

このような状況に対応するため、令和4年1月に「いわき水みらいビジョン2031」を策定し、従前からの基本理念である「未来に引き継ぐいわきの水道～安全でおいしい水を必要なだけ～」を継承することで、水道事業を次世代により健全な姿で引き次いでいくことを目指すこととしており、新たに導き出された3つの将来像への歩みを着実に進め、更なる100年に向けて水道基盤の強化を図る。

(2) 施策体系

- 計画期間 令和4年度から令和13年度までの10年間
- 水みらいビジョンの構成



(経営戦略課)

